

# 25 (農)田原 (長野県伊那市)

**実証課題名** 中山間地農業を支える集落営農におけるスマート農業技術を駆使した先進的水田複合経営の実証

**構成員** (農)田原、伊那市、上伊那農業協同組合、信州大学、農研機構中央農業研究センター、(一社)全国農業改良普及支援協会、(株)クボタ、クボタアグリサービス(株)、(株)関東甲信クボタ、長野県農政部農業技術課、長野県上伊那農業改良普及センター、長野県農業試験場

- 背景・課題**
- 集落営農組織においても高齢化や後継者確保は深刻な問題となっており、その課題解決に向け、新たな農業技術の導入が急務である。
  - 小区画でほ場が分散するなど生産条件が不利な中山間地において、省力で人にやさしいスマート農業技術への期待が高まっている。



実証地区の様子

**本実証プロジェクトにける想い**

中山間地域の実情にあったスマート農業技術の実証・導入により、収益性が高く、若い人に夢と希望が与えられる農業を実現し、地域農業の持続的な発展を目指します。

- 目標**
- ほ場や作業記録等の各種データに基づいた管理による労働時間の削減と農産物の高品質化
  - 省力化により削減できた労働時間を活用した園芸品目の導入による売り上げ増加 (目標 10%)

**実証する技術体系の概要**

- 要素技術**
- ①直進アシスト機能付き田植機、②ラジコン草刈り機、③マルチロータ (薬剤散布と生育診断)、④自動給水栓、水田センサ、⑤食味・収量コンバイン、⑥無人走行トラクタ

時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「見られる」ポイント		①	③ ②	③	④	⑤	⑥					⑥

①直進アシスト機能付き田植機  
(株)クボタ



②ラジコン草刈り機  
(株)クボタ



③マルチロータ (薬剤散布と生育診断)  
(株)クボタ・信州大学



**問い合わせ先**

▶実証代表 長野県農業試験場 e-mail:smartagri@pref.nagano.lg.jp  
▶視察等の受入について 企画経営部 026-246-2412 (担当 福田勉)